



奈良の民話を語りつぐ会 講演と語り

グリム童話誕生200年記念

ドロテア・フィーマンが語ったグリム童話

グリム兄弟に多くのお話を提供した仕立屋の妻フィーマン夫人の生い立ち、人となりを現地で撮ったスライドを見ながら、紹介します。そのあと、ナーミンのみなさまに好きな話を語っていただきます。もちろん読み聞かせでもOKです。楽しい会になりますように！

絵本の読み聞かせや語りの実践をされている方、孫や子に昔話を語ってみたいという方々、しばしメルヘンの世界に浸ってみたい方々、是非、いらしてください！

それではお話のはじまり、はじまり。「むかーし、あるところに…」

◇ 日時：4月23日（木） 15:00～16:30

◇ 会場：奈良市西部公民館4F（近鉄学園前駅南側）

◇ 講師：奈良教育大学名誉教授 たけはら たけしげ 竹原 威滋



研究分野はドイツ伝承文学で、グリム童話や日欧の民間説話の比較研究に従事。奈良県下で民話調査も実施。また、「奈良の民話を語りつぐ会」の代表として、地域での語りの文化の再生にも取り組んでいる。「NHK おはなしステージ in なら燈花会」の監修・解説を務める。朝日カルチャーセンター樟葉教室講師。最近著に『グリムと民間伝承 東西民話研究の地平<退官記念論文集>』（麻生出版）がある。



グリム童話の語り手 フィーマン夫人の肖像
（グリム童話 第2版・第2巻 1812年刊・扉絵）

【対象】一般市民、お話・メルヘンに関心のある方々

【申込】不要 ※ 先着50名 【参加費】無料

【問い合わせ先】奈良の民話を語りつぐ会 事務局 小西雅子（電話 090・9992・6815）